

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年11月22日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	日本紙運輸倉庫株式会社
所在地	東京都千代田区神田美土代町9-1
代表者役職・氏名	代表取締役社長 山田 隆
担当者連絡先	電話：03-5843-7600 (担当：小田) メール：m-oda@jptw.co.jp
ウェブサイトURL	https://jptw.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1913年に創業した総合物流業者であり、 倉庫業・港湾運送事業・貨物利用運送事業・通関業・損害保険代理業を行っています。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・省エネ活動 ・CO2排出量削減 ・資源ロス/廃棄物削減 ・自然環境保全	① エネルギー使用量削減 ② 再生エネルギー導入、モーダルシフトの提案/実施 ③ 廃材の分別と再利用 ④ グリーン経営、CoC認証品の適正保管/管理
□環境 ✓社会 □経済	・地域での活動 ・社会問題の解決	① 障がい者支援施設への寄付 ② 災害時一時避難所登録 ③ 環境/社会に配慮した効率的な物流サービスの開発と提案
□環境 □社会 ✓経済	・再エネ導入 ・働き方改革 ・多様な人材活躍 ・人材育成	① 太陽光パネルの設置 ② 長時間労働の防止、多様な働き方の実現、DX化による業務効率向上 ③ 女性活躍推進 ④ 社内研修促進、資格取得支援

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	コンプライアンス体制を整備。定期研修を行っている。 内部通報制度規定を制定している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社内規定の周知、及び研修を行っている。 総務部を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・長時間労働の防止に取り組んでいる	長時間労働削減に向け、生産性向上、データ管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	事故防止委員会で効果検証/事故原因の究明や是正を行っている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年に1回ストレスチェックを実施。必要であれば、専門医による面接指導を推進している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性活躍推進(女性活躍推進法に基づく行動計画策定5年)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社内研修促進(教育対象者及び研修希望者に教育の機会を提供)WEBセミナーや外部研修の実施。 資格取得支援(全額会社負担/通信教育のみ半額負担)				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	待遇は同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年に2回健康診断を実施している。				3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	廃材を加工材、非加工材に分別し工場等の燃料にリサイクルし廃棄量の削減に努めている。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6									15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	グリーン経営認証取得(2006年取得 九州支店福岡営業所)		3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	【予定】新設する倉庫にソーラーパネルの設置を進める。						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	AEO認定通関業者の認定を取得(2017年9月取得)国際貿易におけるコンプライアンス/セキュリティ確保と効率化の双方を実現。		3.9								12.4							
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEO認定通関業者の認定を取得(2017年9月取得)国際貿易におけるコンプライアンス/セキュリティ確保と効率化の双方を実現。								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトの提案/実施 ・コンテナラウンドユースの提案/実施によるCO2排出量の削減。						6					12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・【予定】災害時の一時避難所登録。福岡県小群市の一時避難場所として市と協定書を締結(2024年度竣工予定倉庫)				4						9	11	12		14	15		17

